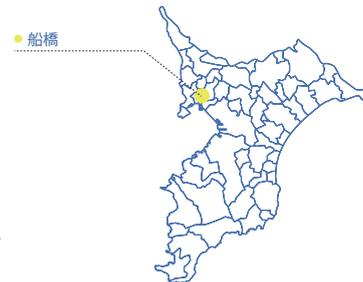


kei kan ma chi du ku ri tsu shin  
 景観まちづくり通信

所在 見学会inふなばし 令和6年3月16日開催

# 灯明台に照らされたまち船橋の 商業的景観の今を辿る



景観まちづくり委員会 令和5年度2回目の見学会を振り返っての座談会



▲ 左から星野・中嶋・渡部・出堀・高梨 令和6年4月15日 船橋フェスティバルにて

もともと見学会の舞台として船橋を選んだのは、私も星野さんも地元ということで、おぬしなら案内できるだろうという流れで決めさせていただきました。当日は見る個所も多く、結果万歩計で合計15,000歩を超えたようです。本日は今回の船橋の海側の商業地をめぐっての感想や反省点を各人に語っていただけたらと思います。まずは、高梨さんいかがでしょう。(出堀)

**高梨** 前回1回目の浦安での見学会同様、委員会のメンバーで見学場所の情報収集や現地へも事前に足を運び、下準備は大変でしたね。船橋大神宮では社務所の方に神社の案内をお願いしてみたものの叶えられず、市観光協会を訪ねて見学会の趣旨や見学コースを伝えると見学場所に係る大変興味深いお話を伺うことができたことは貴重でした。

併せて大神宮の案内役として地元ボランティア団体の「ふなばし街歩きネットワーク」を紹介して頂き、快く案内を引き受けてもらうことになり安心しました。

地元の方々との出会いにより、ネットや情報誌では得られない船橋の歴史や地元への思いなど色々なお話を聞いたり、双方の活動を理解し合えたことが今回のまち歩きの大きな成果でもあり、委員会にとっても今後の大きな励みになったのではないのでしょうか。



▲ ふなばし街歩きネットワークの方々と

案内いただかないとただ通りすぎただけかもですね。渡部さんが印象に残っているのはどんなことですか。

**渡部** 本見学会のスタート地点・南船橋駅周辺について、下見時に観光協会理事より『ここは船橋ヘルスセンターがあった所で、その後大型商業施設・オートレース場・屋内スキー場・集合住宅・アリーナその他日本を代表する様々な施設の変遷があった』ことを教えられました。この南船橋駅周辺にはポテンシャルの特異性を感じられました。今後共、深掘りしながら見ていきたいと思っています。



▲ ふなばしアリーナ建設中を背景に